プリンセス
小公女セーラ

第11話

『プリンセスの誕生日』

AR台本

企画
制作

日本アニメーション株式会社

プ リ ン セ ス

小 公 女 セ ー ラ

第十一話　『プリンセスの誕生日』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン…………中西妙子
アメリア…………梨羽由記子
ピーター…………坂本千夏
アーメンガード…八百板万紀
ベッキー…………鈴木三枝
ラヴィニア………山田栄子
ガートルート……佐々木るん
ジェシー…………飯塚はるみ

ロッティ……渡辺菜生子
マリエット……高木早苗
モーリー……向殿あさみ
ドルシラ……
リンダ……
ジェニファ……
花屋……
シーザー……山田栄子
ボナパルト……坂本千夏

カメラ	画面		音声
1	春の朝 にぎやかに行き交う人の足 荷物を積んだ荷車も勢良く通っ ていく 石畳は落ちている紙屑、野菜く ずでよごれている		
2	激しく行き交う人々（雑多な人 々）　頭にかついで運ぶ人		
3	店の前を行き交う人々		
4	コベントカンデンである 激しく行き交う人々 ピーターが走って現れ 手前に走ってくる		
5	ピーター、走って人々の間を抜 けて行く　FOLLOW PAN← 人で一杯の雑踏		

No.	画面		台詞
6	花屋の前 飛び出してくるピーター 店の蔭からおき上がるおばさん		ピーター「おばさん!! 花頼むよ! いい花。山程欲しいんだ!」
7	ピーター、うれしそうに話す		
8	大げさにオドロクおばさん		花屋「どうしたんだい、ピーター! お祭りでも始まるのかい」
9	元気良くごきごんなピーター おばさんの方へ身を乗り出して		ピーター「違う違う!! セーラお嬢様の誕生パーティがあるんで、院長先生に頼まれてるんだよ」
10	浮き浮きしたピーター 花束を作り始めるおばさん		花屋「ヒヤァ、あのプリンセス様みたいなお嬢様の……」 ピーター「そうさ、急いで頼むよ」 花屋「ようしきた、 〜 (off) あんたの御主人のお祝いとあっちゃあ大サービスしてあげるからね」 ピーター「ありがとう、おばさん」
11	おばさん、たのしそうに 満足そうに微笑むピーター		
12	白い布をひろげるジェニファ		

13	並べたテーブルに白い布をかけるジェニファ、スーザン、ドルシラ		ドルシラ「もっと引いて」
14	テープをはっている手前のリンダ、つま先立ちになってふらふらしている スーザン、テーブルに白い布をかける 喜ぶ子供達		ジェニファ「こっち…こっち……」 声「いいわよ!! 引っぱってね」 声「わァ…うまくいったわ……!!」
15	壁にテープをとりつける 振り返り叫ぶアーメンガード		アーメンガード「ロッティ、そこのピンとってちょうだい」
16	椅子の上のピンをとろうとして指をさすロッティ 半ベソかきつつ手をなめている		ロッティ「はーい」 ロッティ「痛ッ…痛いよォ……」
17	「HAPPY・BIRTHDAY」と書こうとしているジェシーとガートルード		

18	ラヴィニア、見回しながら後へ 現れる—二人を見て立ち止まる ジェシー、起き上がり顔を見合 せてがっくりとする二人	ジェシー「わァ！ 失敗しちゃったァ！」
19	二人、ラヴィニアの方を見て	ジェシー「ねえ、ラヴィニア、書いてよォ」
20	ラヴィニア、肩をすくめる ツンと宙を見る	ラヴィニア「ごめんだわ。セーラの誕生パーテ ィのお手伝いなんて」
A・C		
21	ツンとするラヴィニアから顔を そらして、お互に見合わせて困 り顔になる 字を見て溜息をついてオチコむ 二人 ラヴィニア、二人の前へ歩む のぞきこむ	ジェシー、ガートルード「ハーッ（溜息）」
22	二人の書いた字	
23	冷笑を浮べるラヴィニア 入口の方を見てキッと唇をかむ	ラヴィニア「そんなの気にすることないわ!!」 ピーター「おまち遠さまアーッ」 女性徒たち「（嘆声）スゴーイ←〜

			ワァ、キレー etc（アドリブ）」
24	ピーター、得意気に入ってくる 集まっている女性徒たちをかき わけるように前へ出て来て花の 中から顔を出すピーター 花ビンごとかかえている		ピーター「ちょッ、ちょッと…通して下さァい ……」
25	見とれる生徒の前を通過してい く花を抱いたピーター		
26	テープをとりつけていたリンダ とアーメンガード、ピーターを 見つめて微笑むアーメンガード		リンダ　「わあ…きれいね……」
27	驚いているジェシーとガートル ード　立ち上がり花の方へ走る		二　人　「わ…あ……」
28	集まっていく一同 ラヴィニア、一同を冷笑した顔 で見ながら手前にくる		ラヴィニア「フン、こんなパーティ開くなんて 大袈裟よ。ミンチン先生もミンチン先 生だわ！」

29	台所 ジェームスが大鍋をテーブルに運ぶ 鍋を置いたとたん出入口を見て驚く　振り向くモーリー		S・E(off)（ガチャ） ジェームス「院長先生！……」
30	扉をしめて入ってくるミンチン ニコニコしている		ジェームス(off)「御用でしたら」
31	もみ手しながら前にでてくる ジェームスにつづいてモーリー ミンチン院長来て止まる		ジェームス「…お伺いいたしますのに……」
32	にこやかな顔でテーブルの上などを見回すミンチン		ミンチン「いいのよ…誕生パーティの特別料理は進んでいるのでしょうね」
33	唖然とした顔からあわてて愛想よくなるジェームスとモーリー		ジェームス「へえ……？　ええ……!!」
34	布に覆われたもの、クッキーの皿 鍋に立つ湯気を示しながら ミンチン、満足そうにうなづき 大鍋の方へ進むミンチン		ジェームス「…腕によりをかけまして……」 ミンチン「では…お味拝見……」

	避ける二人		
35	大鍋からシチューをすくい小皿に移して味をみるミンチン		
36	小皿を口から離して宙を見つめて考えるミンチン 心配気に見つめる二人 心もとなく顔を見合わせてうつむくジェームス ミンチン、勿体をつけて 突如、相好をくずして 残ったシチューを一気に呑む 唖然と見つめる二人、そのうちこぼれる笑顔の二人		ミンチン「ウーン？」 ミンチン「おいしい」
37	シチューから昇る湯気とクッキー（布に覆われたもの）		ミンチン(off)「ジェームス、いい味、出すわね」
38	手前に来るミンチンを避けて通す二人 唖然としてミンチンを見つめる二人		ミンチン「これならセーラさんも、きっと喜ぶわ」

39	出口でちょっと立ち止まり振り返って 呼びながら出て行く		ミンチン「ローストビーフの方も腕をふるってね」 ジェームス(off)「へ、へえ、そりゃもう」 ミンチン「アメリア！ ～
40	見送った後、顔見合わせて ※ミンチンの(off)は扉の外の声 ジェームス、怪げんそうに		(off) アメリア！」 モーリー「どうしちゃったんだろ。生徒の食事の味なんて見に来たこともない人がさ」 ジェームス「ああ、まるで自分の誕生日みてえに浮かれちまってよ」
41	モーリーもうれしそうに		モーリー「ま、あのセーラお嬢さんが、ダイヤモンド鉱山の後継ぎになると決まったんだから ～ 院長先生だって浮き浮きするさね」
42	ジェームス、ニンマリした感じで		ジェームス「ヘッ、お蔭でこっちは、忙しくなるばかりだ」
43	モーリー、うれしそうに話す		モーリー「なあに、そのうちこっちもお給料を

			あげて貰えるよ」
44	ふき上がる大鍋		モーリー(off)「あの大金持ちのセーラお嬢さんのお蔭でね」 S・E　(プシューカタ、カタ、カタ)
45	ジェームス、右方を見て驚いて駆け出す		ジェームス「違えねえ……ン……」
46	駆けつけて慌てて蓋をとるが、熱さに手を放す 鍋のフタが床に落ちる 呆然と床を見る		ジェームス「あちち……」 S・E　(ガラン、ガラン) ジェームス「はあ」
47	肩をすくめるモーリー		モーリー「まったく調子狂っちまうよ」
48	叫ぶボナパルト		ボナパルト「セーラ　セーラ…… ～ セーラ　セーラ……」
49	マリエットがセーラに、ミンチンの買った服の着つけをしている　傍に花で作ったリボンを手に控えているベッキー		

50	セーラ、言いにくそうに 顔を上げるマリエット		セーラ「ね、マリエット……私、院長先生が 誕生日のパーティを開いて下さるのは 嬉しいのだけど 〜
51	ベッキー、きれいなリボンを見 つめて		(off) 大袈裟なのは困るわ。もっと普通でい いのに……」
52	マリエット得意そうに話す		マリエット「でもお嬢様。院長先生は、お嬢様を とても大切な生徒さんだとお考えなん ですわ。 〜
53	セーラ、マリエットの言葉尻をさ えぎるようにして		だって、お嬢様はダイヤモンド鉱山の ……」 セーラ「マリエット…それは、お父様のお仕 事よ」
54	セーラ、マリエットに告げる ノックの音 返事するセーラ		セーラ「その事で私が特別扱いになるなんて 変よ……」 S・E (コン、コン、コン) セーラ「はい」
55	ドア開き入ってくるアメリア 顔がほころぶアメリア		アメリア「まあ、セーラさん」

56	セーラ、手前に来る にっこり笑みを浮べて軽く会釈するセーラの方へ進み出て感心したように服を眺め入るアメリア 照れるセーラ にこにことドレスを眺め回すアメリア	セーラ　「…アメリア先生!!」 アメリア「…なんてよく似合うんでしょう……」
57	大仰にほめそやすアメリア 「ううん」と否定するアメリア あらためて肩に手をおき見つめるアメリア 恥づかしげな表情のセーラ	アメリア「…ほんとにプリンセスみたいな…… ……!!」 セーラ　「まア…アメリア先生!!」
58	ベッキーとマリエット、顔を見合わせて微笑する	
59	セーラの腕をとって微笑し眺めるアメリア 困惑顔のセーラ	アメリア「さ、院長先生がおまちかねよ。 あなたに買ったその服を着たところをごらんになりたいんですって……あ…

	ベッキーの方を向くアメリア		ベッキー〜 あとでピーターを呼んでね」
60	アメリア、ベッキーにたのむ 返事するベッキー アメリア、満足げにうなづき感心した面持ちであとずさりして行く		ベッキー「ハ…ハイ…アメリア先生！」 アメリア「…う〜ん…さすがセーラさん……」
61	笑うに笑えず困惑のセーラ		
62A	鏡の中に映るミンチンが髪を整えている		
62B	ごきげんな顔で大きくなってくるミンチン後姿と悠々…一人ほくそえんでいる 襟を直したり眼鏡を直したりしているミンチン（浮かれているようで全く普段とちがう） ミンチン「フッ」とごきげんな顔が消えて普段の顔にもどる		S・E　（ノックの音、コン、コン、コン） ミンチン「…どうぞ……!!」
63	ドアを開けアメリアがのぞく		アメリア「お姉様、セーラさんのお支度がすみ

	セーラをうながすとオズオズ歩いて来るセーラ 手にヘアバンドを持っている		ましてよ さ、セーラさん……」
64	前へ進み出るセーラ、立ち止まり軽く頭を下げる 大仰に驚ろきセーラを眺め回すミンチン		
65	ミンチンのスカートが、奥へ回りこんでいくと、セーラのスカートが見える		
66	うつむきぎみのセーラ まわり込んで服を眺めるミンチン		
67	満足気に微笑むミンチン		ミンチン「まあ、とても結構よ。矢張り高級店で求めただけのことはありますよ。 〜 セーラさん」
68	困惑のセーラと後のアメリア 満足げに微笑していたが…		セーラ「はい、有難うございます。院長先生」

	アメリア、出て行こうとする		アメリア「じゃ私は、会場の準備を見て参りますわ」
69	ミンチン頷く 扉の閉る音 セーラの方を向いて、とりつくろった笑顔で言う		S・E　（ガチャ） ミンチン「セーラさん…今日は、一般生徒たちの誕生日と違うのですからね…… 〜 あなたのために盛大なパーティを用意しているのですよ……そうそう、先程ハムレイズから贈物が届いていますよ」
70	うつむいていくセーラ 顔を上げるセーラ　微笑に、包みの方へ向かう		
71	大きな包みを手でなでるようにして回りこんで来るセーラ リボンの間に見えるカードを取る　カードを見て喜色満面になるセーラ		セーラ　「まあ…お父様から…嬉しい！」 ←〜〜〜
72	包みに、ほほをすり寄せて喜ぶセーラ		

73	微笑しているミンチン 扉の方を見る		S・E　（ノックの音・三回） ミンチン「お入り……」
74	ドア開きベッキーとピーターが 会釈する ミンチン、前にくる ミンチン、セーラの方を見る		ミンチン「あ、その箱をパーティの部屋に運ぶ ように」 ピーター「はい、院長先生……」 ミンチン「さ、セーラさん、プリンセスらしく 花の王冠を冠って……
75	セーラ、にっこりとして		〜 (off)　…参りましょう」 セーラ「はい、院長先生!!」
76	テープでかざられた遊戯室の壁 アメリア笑顔で見つめている		
77	窓にかざられたひいらぎとテー プ　振り返りながめ回す		
78	暖炉の上にかざられている横断 幕は、ところどころしみがつい ている		

	にこにこしている子供たち アメリア、来て見上げる 振り返り集った子供たちの肩に手をおき 生徒たち走って行く		アメリア「さ、これでいいわ…皆さん…並んで下さい」 声「わあー!! わあー!! (アドリブ)」
79	並ぶ年少組		
80	並ぶ年長組		
81	「ぶすっ」とした顔つきで並んでいるラヴィニア		
82	並んだ一同を見回して満足げに頷づきオルガンの方へ歩むアメリア		
83	座るアメリア、オルガンをひき始める		(ハッピーバースディの歌) ←〜
84	歌いはじめる生徒たち（年少組）		子供達「ハッピーバースディ」 ←〜

85	（年長組）アーメンガードたち		子供達「トゥーユー」（唄つづく）
86	扉がひらいてミンチン入って来る　セーラを招き入れる　恥ずかしそうにうつむいている		
87	唄いながら見る年少組　瞳が輝やいている		
88	見てにっこりするセーラ　恥ずかしそうに前に進む		
89	にこにこしながら唄い、顔を見合わせているアーメンガードたち　前に来るセーラ		
90	恥ずかしそうにうつむいているセーラ		
91	固くにぎりしめた手のラヴィニア、唄っているが堅い顔　ジェシー、ガートルード、顔を		

	見合わせてラヴィニアを唄いながらのぞく		←〜〜
92	照れるセーラ		生徒達「プリンセスセーラ、ハッピーバースディ〜トゥー　ユー」 （拍手）
93	オルガンの伴奏も終わり一斉に拍手する子供達		
94	拍手する年少組		〜〜〜〜
95	微笑んで会釈を返すセーラ		〜〜〜〜
96	セーラの前へピーターとベッキーが包装された箱をおく ピーター、セーラの方へ進んで		←〜〜〜
97	ピーター、ペコリと挨拶して微笑を浮かべて会釈するセーラ ピーター、緊張している 淋しげな表情でミンチンを見上げるセーラ		ピーター「おめでとうございます。お嬢様」 ピーター「あ…あの……」 ミンチン「さ、あなた達は退(さが)ってよろしい」

98	ためらっていたピーター 思いきって小さな紙包みをセーラに差し出す		ピーター「は、はい……」 ピーター「あの、お嬢様……これ、お祝にと思って、市場で買ってきたんです」
99	紙包みを渡すピーター セーラ、紙包みを開いてオカリナをとり出す ピーターの方を見て		セーラ「まあ……」 セーラ「ありがとう、ピーター」
100	照れるピーター ガートルード、小声でジェシーにたずねる		ピーター「へ…へへへ」 ガートルード(off)「あれなんなの？」 ジェシー「オカリナよ…… 〜 箱なんかに入ってるから何かと思ったら……」
101	ガートルード、いたずらぽっく言う 三人、笑う		ガートルード「きっと、どこかで拾ってきたんじゃないの」
102	嘲笑に困惑するピーターとベッキー		(嘲笑)
103	困惑するセーラ		←〜〜

	ミンチン、二人をうながすように		ミンチン「さあピーター、ベッキー、早くお退（さが）りなさい」
	セーラ、哀願するように		セーラ「院長先生……」 ミンチン「なんでしょう、セーラさん」 セーラ「ベッキーとピーターをここに居させてはいけないでしょうか？」
	ミンチン、びっくりして		ミンチン「まア…セーラさん……!!」
104	困り切った顔をするピーター うつむいてしまうベッキー		ピーター「お、お嬢様！」
105	セーラ、ミンチンの方を見て		セーラ「ベッキーも、私にとても可哀い針さしをプレゼントに作ってくれたんです」
106	困りはて、うつむいているベッキー		セーラ(off)「私、ベッキーとピーターにも 〜 今日のパーティのお客様になってもらいたいんです。お願いです、院長先生 ……」
107	セーラ、ミンチンにお願いする		
108	ヒソヒソと話をする生徒達 ラヴィニア達を除いた生徒達		女性徒達「（ざわめき）」（アドリブ）

109	ジェシー、ガートルード、ラヴィニアたち不満げな表情でいる		
110	ミンチン、左右を制しながら		ミンチン「静かに！　静かになさい！」
111	整列しておとなしくなる一同		
112	なだめるアメリア 満足げに見廻すミンチン ミンチンとアメリア、顔を見合わせて微笑む ミンチン、セーラを見つめて		ミンチン「セーラさん…あなたはなんと思いやりの深い方なんでしょう。今日は、あなたの誕生日ですから 〜 特別に、あなたの願いを許すことに致しましょう」
113	明るい顔になるセーラ セーラ、にっこりとなる		セーラ「まあ…よかった！」
114	ミンチン、ベッキーとピーターの方を見て		ミンチン「ベッキーにピーター、セーラさんに感謝すべきですよ」

115	明るい顔の二人		ベッキー「有りがとうございます。お嬢様」 ピーター「有りがとう御座います」
116	にっこりとうなづくセーラ		
117	アーメンガードとロッティ、顔を見合わせてにっこりしあう ロッティ、ジェインも顔を見合わしてにっこりする ピーターとベッキー、軽く会釈して扉の方へ向かう 笑い顔で見送るアーメンガード ロッティたち		
119	ラヴィニアたち三人、渋面を作って見つめ合う あわててミンチンを見る三人		ミンチン(off)「あっ！ 皆さん」
120	あらためて一同を見渡すミンチン		ミンチン「今日は、セーラさんの素晴しい誕生日です…… 〜
121	セーラの顔にT・Uする		(off) 皆さんが名付けたようにセーラさんは、 ダイヤモンドプリンセスとして将来、

122	生徒を見廻しながらにこやかに 話すミンチンとうつむいている セーラ		お父様のダイヤモンド鉱山の後継ぎと なられる方ですね。 〜 その莫大な財産は、いつかきっと社会 に役立つ立派なこと、例えば学校や教 育の為に使われるだろうと思います… 〜 (off) なぜなら、それがセーラさんの美しい つとめだからです……」 ラヴィニア「この学校のことよ」
123	囁くラヴィニア、うなづき合う 二人		
124	うれしそうなミンチン		ミンチン「そのようなセーラさんを、お友達に 持てたことを 〜 (off) 皆さんも私たちも感謝しなければなり ません。 〜 では、セーラさんに心をこめて 〜 お祝の言葉を送る事に致しましょう。 セーラさん、お誕生日おめでとう」
125	聞いているピーター、ベッキー		
126	幼年組の生徒達		
127	アーメンガード達からC－PA Nする		

128	にっこりするセーラ セーラ、ミンチンとアメリアに 軽く会釈		一同「お誕生日おめでとう」 セーラ「ありがとう、皆さん。それから院長 先生とアメリア先生…… 〜 こんな嬉しい誕生パーティを開いて下 さった事をとても感謝しています。 本当にありがとう」
129	一同を見廻して微笑むセーラ		
130	一斉に拍手する生徒達		
131	ピーターとベッキーも拍手する		
132	拍手するミンチンとアメリア 微笑しているセーラ		
133	硬い表情のラヴィニア		
134	馬車が学院の前に着く 馭者がおりていく バローが降りてくる		
135	バロー、扉を開け現れる 帽子をきちんとして学院を見上		

	げる		
136	ドールハウスからT・Bするとミンチン、アメリア、セーラがいる		
137	嘆声をあげる生徒達　集まってくる		一同「うわーッ！すごーいッ！お人形の家よ、すてき！みせてぇ！etc」
138	顔見合わせるミンチンとアメリア（屋根をとりのぞく）		（アドリブ）
139	部屋の隅から背のびして見るベッキーとピーター		声「わーあ…すごいー」
140	側面が開けられていく部屋の中が見えるロッティがのぞきこむ		
141	のぞく生徒達　目をくりくりしている子たち		アーメンガード、ロッティ、ペネラビ「うわーッ！」

142	のぞきこむ生徒達		
143	フカン図　ドールハウス		
144	軽く一同をびっくりした顔で笑いあって見合わすピーターとベッキー（見たそうな表情で）		
145	のび上がるように前へ出るベッキー、ピーター 扉があいてモーリーが現れる		モーリー「院長先生！　弁護士のバロー様がお見えでございますが」
146	ミンチンおどろいて 明るい笑顔でミンチンを見て 頷くミンチン		ミンチン「まあ、バローさんが？」 モーリー(off)「応接間に御案内致しましたが……」 アメリア「お姉様、きっとセーラさんのお祝いに来て下さったのよ……御案内しなくては……」
147	落ちつかないバローの手が机をたたいている　腰の手も動いている		（にぎやかに聞こえる子供達の声）←〜〜

148	149	150	151	152
いそいそとくるミンチンとアメリア…　顔を見合わせてニッコリして頷き合い院長室の方へ向かう	いらいら手をこねているバロー 「きっ」となるバロー （振り返らず）	入ってくるミンチン、にこやかに つづいて入るアメリア、ニッコリして	「う～ん」とうなって　振り向く 恐い顔のバロー	圧倒されるミンチンとアメリア顔を見合わして怪訝な面持ちになる
～	S・E　（扉の開く音、ガチャ）	ミンチン「まァ…バローさん、ようこそ！」 アメリア「パーティは、たった今始まった所ですわ……」	バロー　「ミンチンさん！……私は、あの娘(むすめ)の誕生祝いなんかに来たんじゃありません…… ～ ……あのムスメに関する重大な事態を伝へに来たんです」	～

153	呆然となるミンチン ※子供達のにぎやかな声、高くなる		←〜〜〜〜

（前半・おわり）

154	ドールハウス 美しい可愛い室内　PAN→		
155	ドールハウスをのぞき見る子供たち　おどろいている		声　「可愛いいわねェ……！」 「こんなとこに住んでみたい」
156	顔を寄せ合って見つめる一同		声　「いい家ねェ」 「ふうん…王様や女王様の住む宮殿よ!!」
157	天井の上から眺めている子供たち 一同、扉の方を見る		S・E　（扉の開く音、ガチャ） アメリア(off)「皆さん、〜 誕生祝いの食事が出来ていますよ！
158	戸口に立っているアメリア		

	アメリアoutしていく 一同、わいわいがやがやと出て行こうとする	食堂の方へ移って下さい！」 生徒達(off)「ハイ、ハーイ!! 行きましょ!!」
159	わいわいがやがやとドールハウスの前を立ち去る一同 誰もいなくなる ひき寄せられるようにドールハウスに近づくベッキー	声「御馳走、何かしら……」 「きまってるわ、ローストビーフよ…」 「私は、ヨークシャーパイがいいのにな……」 ベッキー「わァ！ まるでお嬢様のお部屋みたい……!!」
160	二階を覗き込むベッキー フランス窓を開ける　中には家具	ベッキー「ウッヘーッ！ 本物とそっくり…!! かっわゆ～い！」
161	次の窓へと移っていくベッキー 後にピーターが見える　いらいらとしている	ピーター「ベッキー、仕事だよ。行こう」 ベッキー「ちょっと……もうちょっとだけ見てから……」 ピーター「仕様ないなァ…先に行くよ……」

	ピーター、出て行く	S・E　(扉のしまる音、ガチャ)
162	熱心に見ているベッキー あわてるベッキー、出ていこうとする ベッキー、はっとなって ベッキー、白布をめくってテーブルの下にもぐりこむ	バロー(off)「お…こちらの教室の方で」 ミンチン「ハイ…生徒たちは下の食堂の方へ」 S・E　(扉のノブの音)
163	扉、開けて入ってくるバロー 手前に来て部屋を眺め回す 渋面を作った不満げな顔 ミンチンとアメリア、扉の前に立ちバローを見つめている 扉はアメリアがしめる	
164	幕を見つめドールハウスを眺めるバロー	
165	バロー、苦々しげに見回して 怪訝そうな面持ちのミンチン バロー、苦々しげにミンチンの	バロー「ふむ…あんな娘のために…なんと云う馬鹿な金を使ったものだ」 ミンチン「は……?!」

	方を向き 振り返りアメリアを見るミンチン　ドールハウスの屋根を持ち上げるバロー 下にやや乱暴におくバロー びっくりするミンチン	バロー「いや、あんたも私も無駄な金を使ったものだと云ってるんですよ！」 バロー「このドールハウスは、あの娘の父親に手紙で依頼されて、この私が届けさせたものですわい」 ミンチン「まあ……」
166	驚いて顔上げるテーブルの下のベッキー	バロー(off)「全く、あの馬鹿な父親め、眼の玉が飛び出る程の買い物をさせおって……」 ミンチン(off)「なんて事を仰言るんです」
167	血相をかえてバローの傍に来るミンチン バロー、振り返りミンチンを見る アメリアも入って来て	ミンチン「セーラさんのお父様は、この学院にとって大切な後援者なんですよ………第一、いくら高い買い物でも代理人の貴方は、そのお金を請求すればよろしいでしょう」 アメリア「そうですわ…セーラさんのお父様は、世界有数のダイヤモンド鉱山の持主でいらっしゃるんですもの」
168	渋面で振り返るバロー　勢良く	バロー「フフン、ダイヤモンド鉱山ですと?…

	にくにくしげに 自嘲的な笑い		そんなものが一体どこにあると云うんです？　フフフ…… 〜 (off) フフフ……」
169	二人、顔を見合わして眉をひそめる アメリア、バローの方を見て ミンチン、バローの方を向いて		アメリア「あの、お話ではインドの奥地の……」 ミンチン「バローさん…セーラさんの事で重大な事態とか申されましたね」
170	バロー、ジロリとミンチンを見て		ミンチン「一体なにを仰言りに見えたのです」 バロー「驚いてはいけませんぞ……ミンチンさん」
171	ミンチン、アメリア顔を見合わせる		
172	左右、ミンチンとアメリアを見較べるバロー きっぱりと言う		バロー「…ダイヤモンド鉱山なんて…どこにもなかったんです」

173	二人、おどろく		ミンチン「…そ…そんなこと……?!」
174	テーブルの下のベッキー、愕然となる バローの足がゆっくり奥へ行く		S・E　（コッ、コッ）←〜〜〜〜〜
175	怒るバローの歩き FOLLOW→		
176	茫然と立ちバローを見つめている二人		
177	窓辺で外を見つめるバロー テープを握るバロー		バロー　（止まる） 「ミンチンさん……あの馬鹿なクルーめは、ダイヤひと粒出ないボロ鉱山に……… 〜 全財産をつぎこんで…破産したんです」
178	にくにくしげにテープを引く		
179	窓に飾られたテープとひいらぎがおちる		

180	バローの足許におちる飾りもののテープとひいらぎ		
181	愕然となるミンチン 信じられない		ミンチン「ま…まさか」
182	苦虫をかみつぶしたような顔で振り返り 身体をミンチンの方へ向ける		バロー「さよう、もっと悪い事にだ…あの男は…インドの奥地で熱病にかかって死んでしまったんです」
183	A・C 足にかかるテープをひきちぎりいらつくようにはずすバローの足		
184	ミンチン、頭をおさえよろめいて倒れかかる		ミンチン「死…死んだ…おおお……」
185	前に咄嗟に出る		アメリア「お姉様！」
186	倒れるミンチンを抱き止めるアメリア		

187	前へ走るバロー		
189	揺れるクロス バローの足が走るのが見える 茫然となったベッキー、外をうかがう		アメリア(off)「お姉様！」 バロー(off)「いかん…アメリアさん……」
190	ミンチンを抱いているバロー		バロー　「…水…水だ！」
191	アメリア心配そう　走り去る		アメリア「は、はい……」
192	ケーキのローソクに息を吹きかけるセーラ 顔を起こして周りを見てにっこりする 拍手がわき起こる		
193	拍手する一同		
194	ラヴィニアたち三人、心ならずも拍手をしているが、ラヴィニア達は顔がこわばっている		

195	にっこりして周囲を見るセーラ		
196	窓の外を汽車が行く		S・E　（汽笛、ポーッ）
197	あおぐアメリアを見て笑い顔を 見せるミンチン ほっとするアメリア		
198	バロー、見守っている　も、ほ っとする		
199	ぐったりと椅子にもたれている ミンチン、首を持ち上げる 見守るバロー ハンカチであおぐのをやめるア メリア		
200	ひたいに手をやりホットするミ ンチン		ミンチン「もう…いいわ、大丈夫……」
201	顔を見合わせてほっとする二人 バロー、ミンチンの方を見て		バロー　「驚いたのもむりもない…… 〜

202	バロー、ミンチンを見おろして 心配そうなアメリア		ミンチンさん……私もインドへ何度も 電報を打ったか？　梨の礫（つぶて）ですわい 〜 だが、あの男の運命が判った以上、こ ちらも手を打たねばならん……」
203	バロー、厳しい表情で		
204	アメリアもミンチンに寄り手を かける 心配げにバローを見るミンチン アメリアもバローを見る		アメリア「お姉様……!!」
205A	ドールハウスの屋根を家に乗せ るバロー セリフを言いながら出ていく		バロー「……とにかく、この高価な買物は、 明日、他の荷物と一緒に引揚げさせて 貰いますからな……」
205B	扉を開け出ていくバロー		S・E（ガチャ）
206	ミンチン、キリキリと口唇をか み		ミンチン「な…なんと言う事に……」
207	椅子を握りしめるミンチンの手		
208	ミンチン、真面目な表情で		ミンチン「アメリア…セーラに教えてやるんで

	驚くアメリア キリリとなって立ち上がるミンチン		す……父親が死んで一文なしになった事を……」 アメリア「えっ……」 ミンチン「…アメリア……!!」 ←〜〜
209	はっとなるアメリア 立ち上がるミンチン		
210	ミンチン、イラダタシイ気持ちを吐き出すように		ミンチン「あの文なし娘は今、私の買った服を着て、私が大金をかけた誕生パーティでタダで飲み食いしているんですよ!!」
211	食堂 肉切り包丁を得意そうにとぎ、ローストビーフに刃を入れるジェームス 側にモーリーが見つめている		
212	料理をとり囲んだ生徒たち		生徒達「（嘆声）ワ——ッ」
213	遊戯室 鋭い口調でアメリアに告げる		ミンチン「アメリア!……あの娘に、全てを教

			えて、この学校から叩き出してやるんです！」
214	アメリア、言い訳する感じで言い返す		アメリア「そ、そんな…お姉様は、いつも私に嫌なことばかりおしつけて……」
215	ミンチン、自らドアを開けアメリアに命令する シブシブ出ていこうとするアメリア　突然ベッキーの泣き声が聞こえる キッとふり返るミンチン 立ち止まるアメリア		ミンチン「行くんです、アメリア！」 ベッキー(off)「（泣き声）えーん、えーん」
216	ミンチン、ジッと見ていたがツカツカとテーブルに歩み寄り白布に手をかけ		
217	ミンチン、白布を引きはがしてみて		
218	愕然とするミンチンとアメリア		ミンチン「ベッキー！」 アメリア「まあ！」

	ミンチン、ベッキーにたずねる		ミンチン「こんな所で何をしてたんです」
219	泣いているベッキー　声にならない ミンチン、いきなりベッキーの腕をつかみ		ベッキー「私…私……」 ミンチン「出ておいで！　さ、早く！」
220	ミンチン、ベッキーを引き出そうとする		
221	立ち上がる二人 許しを乞うベッキー ミンチン、厳しく問いただす		ベッキー「お、お許し下さいまし……」 ミンチン「どうしてあんな所にいたの？　いいなさいッ！」
222	恐怖におののくベッキー		ベッキー「私、人形のお家を拝見してたんです……」 ミンチン「それで？」
223	心配げに見つめるアメリア 答えるベッキー		ベッキー(off)「そしたら…院長先生方の声が聞こえたんで……」
224	ミンチン、ベッキーの腕をとり		

	確かめるように		ミンチン「それで、この下へ隠れたって云うのね……」 ベッキー「は、はい……」
225	泣いているベッキー		ミンチン(off)「それじゃァ、お前は、ずっとここで……」
226	ミンチン、鋭い口調で問いつめる		ミンチン「私たちの話を盗み聞きしてたのね……」 ベッキー(off)「お許し下さいまし……」 〜
227	ベッキー、必死で弁解する		ベッキー「聞こうとしなくても、聞こえてしまったス……」
228	ベッキー、泣きじゃくりながら言う 唖然と顔見合わせる二人 再びベッキーを注視		ベッキー「私…セーラお嬢様がお可哀想で……」 ベッキー「お願いでございます。院長先生……」
229	ベッキー、哀願するように		ベッキー「セーラお嬢様を、追い出さないで下さいまし…私、お嬢様のためならどんなことでもするつもりです」
230	ミンチン、不敵な表情で		ミンチン「許しません！……さ、出ておいき、

			でないと、お前もクビにします。←〜〜
231	はっとなるベッキー		
232	ベッキーの腕を持ってふりまわす様に戸口の方へ放り投げる		出ておいき!!」
233	壁までフッとぶベッキー		
234	ミンチン、ベッキーをおどすように		ミンチン「さ、クビになりたくなかったら〜 (off)　さっさと仕事におかかりなさい」
235	痛さをこらえて立ち上がるベッキー 泣きながら出て行くベッキー		ベッキー「は、はい、院長先生……」
236	見送ったミンチン、足早にドアに向かう アメリア、慌てて追う		ミンチン「アメリア！　来るんです！」 アメリア「お、お姉様……」
237	食堂 セーラを囲んで、手に手に贈物を持った生徒たち		

	ロッティがセーラに近づく		
238	ロッティ進み出て、紙包みをセーラに渡す		ロッティ「セーラ・ママ…これ、私のプレゼント」
239	紙包みを開くセーラ 中からつまみ出すと…		セーラ「まあ、なにかしら」 ロッティ「ウフフ、セーラの大好きなものよ」
240	小さな焼物の子馬		セーラ(off)「まあ、可愛い！」
241	セーラ、ロッティに礼を言う		セーラ「ありがとう、ロッティ」
242	躍り上がって手をたたいて喜ぶ ロッティ 拍手する生徒たち		ロッティ「わあい……」
243	怒りも露わに突き進むミンチン と追うアメリア		
244	食堂 アーメンガードが包装した本を 持ってオズオズ前へ進む		アーメンガード「こ～れ……」

お父さんが、読めって送って来たけど
難しくて駄目なの」

245	本をセーラに渡す	一同「（笑声）」 ←～～
246	セーラ、ニッコリして礼を言う 勢いよくドアが開く　音にそちらを見るセーラ	セーラ「ありがとう、アーメンガード……」 S・E（ガチャ）
247	戸口に立つミンチンとアメリア	
248	ただならぬミンチンの血相に怪訝そうなセーラたち	
249	鋭い表情のミンチン	
250	ラヴィニアたち、ミンチンの様子を見	
251	ミンチン、きっぱりと言う ざわめく生徒達	ミンチン「パーティは、たった今、終わりにします！」 生徒達「えー」 「やだー」

			「どうして」（アドリブ）
252	スカートを握りしめるミンチンの手		生徒達　「（ざわめき）」 ←
253	ミンチン、意地悪っぽい表情で		ミンチン「セーラ……」
254	セーラ、真顔で		セーラ　「はい、院長先生!!」
255	セーラ、ミンチンの前へ行く 見つめるミンチン　T・U		
256	見上げるセーラ		
257	じっと見つめるミンチンの口、 ゆがんでくる		ミンチン「あなたの父親のことで、話すことが ありります」
258	セーラ、ききかえす		セーラ　「お、お父様のことで……?」
259	ミンチン、きっぱりと告げる		ミンチン「死んだのですよ」
260	セーラ、びっくりして		セーラ　「なんですって……」

			生徒達「（ざわめき）」
261	床に落ちる銀盆とお茶の道具		S・E（ガシャーン）
262	廊下に茫然と立つマリエット		
263	部屋の中に入るミンチン 慌てて後を追うアメリア		
264	ミンチン、真険な表情で説明する		ミンチン「あなたの父親は、インドの奥地で熱病にかかって 〜 なくなったのです」
265	ふるえているセーラ		セーラ(off)「そ、そんな…嘘です……」
266	ミンチン、怒鳴る　厳しい表情		ミンチン「私が嘘を云うと思ってるんですか。 〜 バロー弁護士の許へ、インドから電信が届いたんです！」
267	ミンチンなめてセーラ セーラ、茫然として		セーラ「インドから……」
268	ベソをかくロッテイとアーメンガード		ロッテイ「クスン」 アーメンガード「クスン」

	ロッティ、セーラの腕にしがみつく		ミンチン(off)「それに、あなたの父親のダイヤモンド鉱山とかは、とんだボロ鉱山だったんです…… ～ あなたの父親は、あなたに一ペニーの財産の残さずに死んで
269	ミンチン、吐き捨てるように言う		～
270	ニヤリとするラヴィニア		(off) しまったんですよ！」
271	懸命に首を振るセーラ		セーラ「し、信じられません……お父様がなくなったなんて…… ～
272	ロッティ、セーラとミンチンを交互に見て泣き出しそうになる		だって、お父様からは、あんなに元気なお手紙が ～
273	この憎らしい小娘をどうしたものかと黙ってセーラをにらんでいたが、やがて手をのばすミンチン		(off) 来ていたんです」
274	花の冠をつかみ床にたたきつける		ミンチン「セーラ！」

275	床にとびちる花冠		
276	ミンチン、セーラを見下ろして		ミンチン「あなたはもう、ダイヤモンドプリンセスなんかじゃ〜
277	茫然と見上げるセーラ		(off) ありません！……学校を出て行くんです！」
278	ブルブルふるえているセーラの手　ハッとして手を離してそれを見るロッティ　セーラを見上げる		
279	アーメンガード、セーラに抱きつく		アーメンガード「セーラ！」
280	ニラム、ミンチン		
281	ベソかくロッティ		ロッティ「クスン、クスン」
282	見守るラヴィニアたち		
283	言葉を失なったセーラ		

284	セーラを凝視するミンチン、アメリア		
285	セーラ、眼を伏せると身を翻して走り出す		
286	ミンチンたちの脇を走り抜けドアに向かうセーラ とび出すセーラ		S・E（ガチャ） ロッティ(off)「ウワーン」
287	大声で泣き出すロッティ		←～～
288	つられて泣き出す年少組 顔見合わせて騒然となる年長組		年少組「ウェーン」
289	涙を流すアーメンガード		←～～ アーメンガード「ウェーン」
290	泣くのを制止しようとするミンチン		ミンチン「静かに！　静かにするんです……」
291	独り冷笑を浮べるラヴィニア		

292	一階から二階への踊り場で眠っているシーザー、足音に驚いて眼を覚してとび上がって隅に逃げる 駆け昇ってくるセーラ セーラの勢いにおそれて片隅でおびえるシーザー 駆け抜けるセーラ		
293	階段を駆け昇るセーラ FOLLOW↗ 二階から三階へ向かうセーラ		
294	駆け上がるセーラ		
295	駆け昇るセーラ		
296	三階 画面手前へ駆けてくるセーラ 部屋に入ろうとする		
297	寝室のドアを開けて、とびこみバタンと閉める		S・E（バタン）

298	マリエット、三階へ駆け昇ってくる		
299	ドアの前へ来てノックする 把手をガチャガチャやるが開かない		マリエット「お嬢様！……お嬢様！」
300	溜息まじりに言うマリエット		マリエット「お嬢様……」
301	寝室 ベッドに腰かけているセーラ		
302	セーラ、フト写真に眼をとめ 写真をとりあげる		
303	写真のＵＰ セーラ、つぶやくように		セーラ(off)「…お父様が……」
304	涙がにじむセーラの表情		セーラ「お父様が亡くなったなんて……」
305	左手をベッドについて、体を左にひねってうなだれる ややあって、エミリーを見て、		

306

写真を手離して抱き寄せる

セーラ、泪が溢れ出てくる
涙声のセーラ
F・O

セーラ　「う〜〜ん」

・

セーラ　「エミリー…聞いて……お父様が……
お父様が……私、そんな事信じられな
い…いいえ、信じたくない……」

（おわり）